

健康リスク初期評価 再評価物質の新旧結果（再評価を実施した6物質を再掲）

番号	物質名 (CAS番号)	ばく露経路	前回の評価結果							第9次とりまとめ評価結果 ^{*1}												
			有害性の知見			ばく露評価		MOE	*2*3*4 リスクの判定	*3*4*5 総合的な判定	とりまとめ	有害性の知見			ばく露評価		MOE	*3 リスクの判定	*3 総合的な判定	変更概要		
			無毒性量等	動物	影響評価指標 (エンドポイント)	ばく露の媒体	予測最大ばく露量・濃度					無毒性量等	動物	影響評価指標 (エンドポイント)	ばく露の媒体	予測最大ばく露量・濃度						
1	2-アミノエタノール (141-43-5)	経口	— mg/kg/day	—	—	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	× 【(○)】	第5次	— mg/kg/day	—	—	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、吸入ばく露については「情報収集等を行う必要があると考えられる」に変更された。
						淡水	0.14	μg/kg/day	—	×						—	μg/kg/day	—	×			
		吸入	0.12 mg/m ³	ラット	脱毛及び嗜眠	一般環境大気	0.063	μg/m ³	190	○	○		0.12 mg/m ³	ラット	脱毛及び嗜眠	一般環境大気	—	μg/m ³	—	×	(▲)	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		
2	イソホロン (78-59-1)	経口	15 mg/kg/day	イヌ	最高用量でも影響なし	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	第6次	15 mg/kg/day	イヌ	最高用量でも影響なし	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、吸入ばく露については「現時点では作業は必要ない」に変更された。
						淡水	0.0013	μg/kg/day	1,200,000	○						—	μg/kg/day	—	×			
		吸入	0.37 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制、 肝臓重量の減少など	一般環境大気	—	μg/m ³	—	×	(▲)		0.37 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制、 肝臓重量の減少など	一般環境大気	< 0.031	μg/m ³	> 1,200	○	○	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		
6	グルタルアルデヒド (111-30-8)	経口	0.4 mg/kg/day	ラット	腎臓重量の減少	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	第5次	0.4 mg/kg/day	ラット	腎臓重量の減少	飲料水	—	μg/kg/day	—	×	○	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データの見直しにより、吸入ばく露については「情報収集等を行う必要があると考えられる」に変更された。
						地下水	< 0.012	μg/kg/day	> 3,300	○						—	μg/kg/day	2,500	○			
		吸入	0.0016 mg/m ³	ラット	鼻の刺激症状、 体重増加の抑制	一般環境大気	—	μg/m ³	—	×	×		0.0016 mg/m ³	ラット	鼻の刺激症状、 体重増加の抑制	一般環境大気	—	μg/m ³	—	×	(▲)	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		
7	α-クロロアニリン (95-51-2)	経口	0.071 mg/kg/day	ラット マウス	メトヘモグロビン 濃度の増加	飲料水・食物	—	μg/kg/day	—	×	× 【(○)】	第3次	0.071 mg/kg/day	ラット マウス	メトヘモグロビン 濃度の増加	飲料水・食物	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データを見直したが、経口ばく露及び吸入ばく露の総合的な判定結果に変更はなかった。
						地下水・食物	< 0.2	μg/kg/day	> 36	▲~○ 【×】						—	μg/kg/day	36~810	×			
		吸入	0.02 mg/m ³	ラット	メトヘモグロビン 濃度の増加	一般環境大気	< 0.15	μg/m ³	> 13	▲~○ 【×】	×		0.02 mg/m ³	ラット	メトヘモグロビン 濃度の増加	一般環境大気	—	μg/m ³	—	×	(○)	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		
9	2,6-ジニトロトルエン (606-20-2)	経口	0.04 mg/kg/day	イヌ	髄外造血	飲料水・食物	—	μg/kg/day	—	×	× 【(○)】	第5次	0.04 mg/kg/day	イヌ	髄外造血	飲料水・食物	—	μg/kg/day	—	×	(○)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データを見直したが、経口ばく露及び吸入ばく露の総合的な判定結果に変更はなかった。
						地下水・食物	< 0.02	μg/kg/day	> 40	×						—	μg/kg/day	> 40	×			
		吸入	— mg/m ³	—	—	一般環境大気	0.0086	μg/m ³	—	×	×		— mg/m ³	—	—	一般環境大気	0.0086	μg/m ³	—	×	(○)	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		
12	ペルフルオロオクタン酸 (335-67-1)及びその塩	経口	0.03 mg/kg/day	マウス	母マウスの肝臓重量の増加	飲料水・食物	0.0054	μg/kg/day	560	×	(▲)	第6次	0.03 mg/kg/day	マウス	母マウスの肝臓重量の増加	飲料水・食物	0.0020	μg/kg/day	1,500	×	(▲)	・有害性の知見については変更なし。 ・ばく露データを見直したが、経口ばく露及び吸入ばく露の総合的な判定結果に変更はなかった。
						地下水・食物	—	μg/kg/day	—	×						—	μg/kg/day	2,100	×			
		吸入	0.03 mg/m ³	ラット	肝臓重量の増加、 ALPの上昇、 肝細胞肥大など	一般環境大気	0.0025	μg/m ³	1,200	×	(▲)		0.03 mg/m ³	ラット	肝臓重量の増加、 ALPの上昇、 肝細胞肥大など	一般環境大気	0.0025	μg/m ³	1,200	×	(▲)	
						室内空気	—	μg/m ³	—	×	×					—	μg/m ³	—	×	×		

(注1) 表中の網掛けは、前回評価結果からの変更箇所を示す。

(注2) 「リスクの判定」は、第3次及び第5次とりまとめでは「リスク評価の結果」という項目名で表記されている。

(注3) ○：現時点では作業は必要ない、▲：情報収集に努める必要がある、×：現時点ではリスクの判定はできない、(○)：情報の収集等を行う必要性は低いと考えられる、(▲)：情報収集等を行う必要があると考えられる。

(注4) リスクの判定の欄、総合的な判定の欄において、第5次とりまとめまでの評価内容を第6次とりまとめ以降の表記形式で記載すると、【 】内に示したようになる。

(注5) 「総合的な判定」は、第3次及び第5次とりまとめでは「判定」、第6次とりまとめでは「評価」という項目名で表記されている。